

徹底比較 ≫ 短答 対策 コース編

2018年合格目標 短答対策コース	基本データ			カリキュラム回数						学習時間			
	開講時期	学習期間	学習ペース	総回数	インプット	短答⇔論文 ハイブリッド講義	短答対策	解法マスター	アウトプット	総学習時間	インプット 学習時間	解法マスター 学習時間	アウトプット 学習時間
● 上級短答本科生	6月・7月	11～12ヵ月	週1～2回	全55回	35回	25回	10回	1回	19回	162時間	103.5時間	3時間	55.5時間
● 上級短答本科生 Fast	10月	8ヵ月	週1～2回	全38回	19回	—	19回	—	19回	106.5時間	51時間	—	55.5時間
● 短答答練パック	2月	4ヵ月	週1回	全13回	—	—	—	—	13回	40.5時間	—	—	40.5時間

上級短答本科生

VS

上級短答本科生 Fast

VS

短答答練パック

の違い

TACの中・上級コースは、受験経験者専用で作成されたカリキュラムであり、弁理士試験合格に必要な知識が習得できるインプット講座、習得した知識を正しく得点に結びつける解法マスター講座、本試験に向けて、実践力を養っていくアウトプット講座で構成されています。

ここでは、短答合格を目指す3つの本科生・パック生の違いを紹介します。本科生・パック生を選択する際の参考にしてください。

① 開講時期が違う！

▼ここがポイント！

6月・7月開講 上級短答本科生

学習時間を
より多く確保できる。

10月開講 上級短答本科生 Fast

秋から集中的に学習できる。

2月開講 短答答練パック

本試験3ヵ月前から
演習中心に学習できる。

6月・7月開講の上級短答本科生は、短答本試験まで実施していた学習ペースを維持したまま、継続して学習できます。また、多くの学習時間を確保できるので、いち早くライバルに差をつけることができます。

10月開講の上級短答本科生 Fastは、集中的に学習できるカリキュラム構成のため、効率的かつコンパクトな学習をすることができます。

2月開講の短答答練パックは、本試験3ヵ月前の直前期から演習のみに集中して学習することができます。

② インプットが違う！

▼ここがポイント！

上級短答本科生

短答・論文を同時並行学習する
短答⇔論文
ハイブリッド講義

上級短答本科生 Fast

受験経験者専用講義の
短答四法逐条講義

短答答練パック

アウトプット中心のカリキュラムのため
インプット講義はなし

上級短答本科生は、短答⇔論文ハイブリッド講義がカリキュラムに含まれます。短答と論文を同時並行学習することにより、知識の相乗効果が図れ、また基本的な論点から学習するため、基本知識を再構築することができます。

上級短答本科生 Fastは、受験経験者専用に関された短答インプット講義がカリキュラムに含まれます。多くの受験生が苦手としている論点や押さえておくべき論点を重点的に補強することができます。

短答答練パックは、アウトプットのみのカリキュラムのため、インプット講義はございません。

③ アウトプットは共通！

インプット講義はそれぞれの学習状況によって違いがあるため、学習目的やレベルに合わせた形でカリキュラムを変えていますが、直前期に実施されるアウトプット講義は、上級短答本科生、上級短答本科生 Fast、短答答練パックともに共通です。実施される答練や全国公開模試を受講することで、多くのTACのライバル内での正確な位置づけなど合格に必要な情報を把握することができます。そのため、アウトプットのカリキュラムは共通としています。

結論！

このような方に
オススメ

- 2018年短答合格を目指す方
- 学習時間を多く取りたい方
- 基本知識が不足している方

➡ 上級短答本科生

- 2018年短答合格を目指す方
- 2017年の短答本試験であと一歩だった方
- 集中的に学習したい方

➡ 上級短答本科生 Fast

- 2018年短答合格を目指す方
- 基本知識があり、短答演習を直前期より実施したい方

➡ 短答答練パック